

2010年2月19日  
日本郵政株式会社

**100年前の郵便局にタイムスリップ！**

**重要文化財の郵政建築《宇治山田郵便局舎》新見学ルート開設**

新見学ルート開設を記念し3月6日（土）より各種イベントを実施

開催場所：博物館明治村内郵政資料館「宇治山田郵便局舎」

主催：日本郵政株式会社郵政資料館 協力：博物館明治村

日本郵政株式会社（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 齋藤 次郎）は、明治時代の歴史的な木造建築物として重要文化財に指定されている「宇治山田郵便局舎」（所在地：〒484-0000 愛知県犬山市内山1番地 博物館明治村内郵政資料館）の内部を、1969（昭和44）年5月より一般公開してまいりましたが、このたび、これまで非公開であった切手倉庫、電話交換室、宿直室などを新たに公開し、2010年3月6日より新見学ルートを開設いたします。



▲宇治山田郵便局舎 外観



▲宇治山田郵便局舎 平面図

このたびの公開により、重要文化財として指定されている局舎の建築スタイルを多角的に堪能いただくとともに、明治時代の郵便局の機能について、より実感いただくことが可能となりました。

これに伴い、3月6日（土）、7日（日）は、公開記念イベントを実施いたします。記念イベントでは、局舎内の「切手倉庫」を特別に公開し、倉庫を含めた局舎全体を解説付ツアー形式でご案内いたします。この切手倉庫は、洋風の木造建築物の中にありながら、日本ならではの伝統的な蔵造りで、他の室内と異なり、「倉庫が一部屋丸ごと金庫」といった仕立てであり、土蔵用の壁に鉄格子、鉄扉が設置されている珍しいスタイルです。さらに両日は、明治時代の郵便局員の仕事体験や制服体験など、明治時代にタイムスリップしたような体験ができる明治の郵便局体験コーナーを設け、観覧の皆様へ、当時の郵便局を体感いただきます。

また併せて建物内では、明治時代の郵便業務や建築様式を振り返る企画展「明治ノ郵便」を3月6日（土）から5月31日（月）まで実施いたします。

- 添付：1. 記念イベント 実施概要  
2. 宇治山田郵便局舎について

【本件に関するお問い合わせ先】  
日本郵政株式会社 郵政資料館  
電話：(03)3244-6821  
担当：井村

## 1. 記念イベント 実施概要

### ■ 建築解説ツアー

内容：宇治山田郵便局舎全体を解説付ツアー形式でご案内いたします。

日時：3月6日（土）・7日（日）10：00／11：00／13：00／14：00／15：00  
（各30分程度）

### ■ 明治時代の郵便局 体験コーナー

内容：約100年前の郵便局員の仕事体験や当時の制服を着用して記念撮影ができます。

日時：3月6日（土）・7日（日）10：00～16：00

- ① 制服体験 明治時代の郵便外務員の制服を着用しての記念撮影
- ② 区分体験 明治時代の手紙のあて先を読み取るクイズ式郵便区分体験
- ③ 重さ体験 明治時代の郵便の運搬スタイル体験

※郵便物を入れる袋「郵袋（ゆうたい）」などを運ぶ運搬体験などを実施します。

### ■ 企画展「明治ノ郵便」

内容：約100年前の郵便業務に関する資料展示

会場：宇治山田郵便局舎内

会期：3月6日（土）～5月31日（月）

- ① 明治ノ郵便  
絵巻や日付印などの資料から明治の郵便業務を紹介
- ② 明治ノ建築  
明治時代の錦絵などから同時代の郵政建築を紹介

## 2. 宇治山田郵便局舎について

宇治山田郵便局舎は、1909（明治42）年5月14日に現在の三重県伊勢市本町、伊勢神宮外宮前大鳥居前に完成しました。ドームと双塔をあしらった瀟洒（しょうしゃ）な正面部分と、郵便・電信電話の業務別に建物が両翼に伸びるスタイルは、数ある郵政建築の中でも類をみない特徴的な建築物です。

1969（昭和44）年4月に、明治時代を代表する郵便局舎として保存するため現在設置されている博物館明治村へ移築され、以来、その一部が一般公開され、1999（平成11）年に重要文化財に指定されています。



（左）公衆室（ロビー）は、開放感のある吹き抜け、ドーム式の天井を持ち、当時の郵便局舎としては珍しいスタイルです。

（右）外観は19世紀のイギリス等で流行したハーフティンバー様式の平屋建てとなっています。